# 誕生おめでとう

3月16日～4月15日届出分（19人）

| あかちゃん | 性別 | 保護者 | 誕生日 | 公民会 |
|---|---|---|---|---|
| 﨑山（さきやま） 朋輝（ともき） | 男 | 祐二 | 3・10 | 広瀬 |
| 揚松（あげまつ） 海遥（かいる） | 男 | 利成 | 3・11 | 甫立 |
| 中原（なかはら） 杏由花（あゆか） | 女 | 栄作 | 3・14 | 西町 |
| 海江田（かいえだ） 翔蒼（とあ） | 男 | 英樹 | 3・14 | 高嶺 |
| 平原（ひらはら） 颯士（そうと） | 男 | 勉 | 3・16 | ウッドタウン |
| 満園（みつぞの） 悠真（ゆうま） | 男 | 幸博 | 3・16 | 戸子田 |
| 財部（たからべ） 椿己（つばき） | 男 | 聖崇 | 3・17 | 屋地馬場 |
| 羽有（はあり） 葵（あおい） | 女 | 正二 | 3・21 | 求名町 |
| 田島（たしま） 暖大（ひなた） | 男 | 靖久 | 3・22 | 尾原 |
| 前囿（まえぞの） 真桜（お） | 女 | 正輝 | 3・23 | 船木東 |
| 下木場（しもこば） 心琴（みこと） | 女 | 博毅 | 3・25 | 二渡 |
| 綾園（あやぞの） 凪沙（なぎさ） | 女 | 良作 | 3・26 | 小路下手 |
| 右田（みぎた） 永遠（とわ） | 女 | 大輔 | 3・27 | 新町 |
| 豊田（とよた） そあら | 女 | 康二 | 3・28 | 東町 |
| 豊田（とよた） 我玖（がく） | 男 | 康二 | 3・28 | 東町 |
| 柳田（やなぎた） 萌絵（もえ） | 女 | 直樹 | 3・29 | 紫尾中 |
| 徳重（とくしげ） 悠聖（ゆうせい） | 男 | 真生 | 4・3 | 山崎上 |
| 外園（ほかぞの） 理仁（りひと） | 男 | 寛志 | 4・5 | 諏訪下 |
| 西（にし） 悠太朗（ゆうたろう） | 男 | 公平 | 4・6 | 川原町 |

# おくやみ申し上げます

3月16日～4月15日届出分（33人）

| なくなった人 | 年齢 | 届出人 | 公民会 | 死亡日 |
|---|---|---|---|---|
| 庵袋 勉 | 77 | 庵袋 克基 | 鶴宮園 | 3・5 |
| 山内スミエ | 83 | 八田 平三 | 虎居町 | 3・17 |
| 上之原アキヱ | 85 | 中島 敏男 | 鶴宮園 | 3・17 |
| 橋口 文雄 | 64 | 橋口 成子 | 中央 | 3・18 |
| 谷山ツルヱ | 85 | 上牧瀬三徳 | 上場 | 3・19 |
| 有川 純幸 | 75 | 有川ノリ子 | 求名町 | 3・20 |
| 文屋 隆男 | 65 | 文屋チヱ子 | 東町 | 3・21 |
| 室屋 真紀 | 29 | 室屋 満子 | 黒鳥 | 3・21 |
| 上畝十三雄 | 81 | 上畝カツ子 | 大畝町 | 3・22 |
| 四元 繁明 | 59 | 四元 盛年 | 久富木町 | 3・22 |
| 柿添 政治 | 86 | 柿添 信義 | さつま園 | 3・22 |
| 中野 榮 | 88 | 中野 義光 | 湯田原 | 3・22 |
| 山之口キミ | 98 | 山之口 汀 | 櫃ケ迫 | 3・22 |
| 上囿 正行 | 79 | 岩下 昭雄 | 黒鳥 | 3・22 |
| 樋之口セツ子 | 68 | 樋之口兼夫 | 時吉尚江 | 3・23 |
| 川畑 清美 | 77 | 川畑那瑠江 | 北原 | 3・27 |
| 野間 サワ | 95 | 野間 治子 | 湯田下 | 3・29 |
| 西 ノブ | 86 | 時﨑ミツヱ | 上向 | 3・29 |
| 福田 タダ | 74 | 福田千恵子 | 城内 | 3・29 |
| 山元マツエ | 93 | 山元 佳市 | 二渡町 | 3・30 |
| 井上 輝士 | 73 | 井上スミ子 | 大薄上 | 4・1 |
| 桑原 高雄 | 84 | 桑原 定弘 | 船木東 | 4・2 |
| 中原シツカ | 89 | 中原タマキ | 時吉馬場 | 4・4 |
| 西 早苗 | 90 | 西 惠貴敏 | 紫尾中 | 4・5 |
| 上別府トメ | 91 | 上別府君哉 | 南川 | 4・5 |
| 橋元 明毅 | 72 | 橋元 史明 | 二渡町 | 4・9 |
| 濱田 定 | 87 | 濱田 良一 | さつま園 | 4・10 |
| 植村 トモ | 97 | 植村 司 | 大俣 | 4・11 |
| 北野 スズ | 87 | 北野 政敏 | きららの | 4・12 |
| 上之原スミエ | 89 | 上之原耕治 | 紫尾中 | 4・12 |
| 橋口 秀吉 | 86 | 下市 清美 | 虎居町 | 4・13 |
| 長福ヨシエ | 85 | 長福 次美 | 荒瀬 | 4・14 |
| 柿囿フミエ | 91 | 柿囿 行雄 | 船木東 | 4・15 |

※「誕生・おくやみ」は、届出人が同意された方だけ掲載しています。

## 篤志寄付

町社会福祉協議会へ

・紫尾区大衆浴場　上之原　純　夫

# 健康だより

## ◆こころの健康づくりシリーズ②

### ◆自殺者の増加

前回このコーナーで現代社会は「こころの時代」だと掲載しました。自殺者の増加に代表されるように、こころの関係性がやや希薄になっているのではないかと考えられています。

我が国では、これまで過去3回ほど自殺多発期を経験してきています。昭和30年代前半、昭和60年代前半そして平成10年から現在までです。ただし、今回の自殺者数が過去2回に比して最も高く、全国で3万人を超しています。この数値は交通事故で亡くなる人たちの約3倍なのです。

全国的には秋田、青森などの北日本が多いのですが、次いで私たち鹿児島県もお隣の宮崎県と同様、自殺者数が多い県の一つとされています。なかでも本町は多い地域なのです。

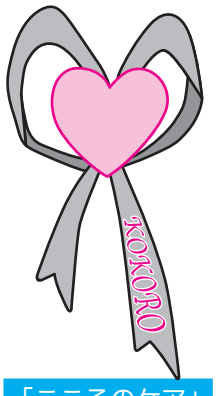
### ◆自殺は予防できるでしょうか

自殺の原因は、警察統計で見ると経済的苦境と体調不良が多いとされていますが、平成14年12月に出された国の「自殺防止対策有識者懇談会」の提言のなかでは、むしろ「こころの病」とりわけ「うつ」「うつ病」対策が最も重要な課題の一つであるとしています。

これまで新潟県の松之山町や岩手県の浄法寺町などでは、主に高齢者のうつ対策に力を入れることによって、自殺者数を大幅に減らすことに成功しています。つまり、自殺は地域において集中的・総合的な対策を講じることによって予防することが可能なのです。国においては、これらの先行地域での成功経験をもとに、大学や国立の研究機関などの有識者を中心として自殺を減らす戦略プロジェクトを昨年度から全国で展開中ですし、本町もこのプロジェクトと連携しながら対策を進めることにしています。

地域への正しい知識の普及啓発、「うつ」や「うつ病」への早期の気づき・健康相談や専門的治療への結びつけ、自殺されたご遺族へのメンタルケア、役場だけではなく地域の医師会や住民の代表の方々や報道機関等との連携など、地域全体での取り組みがその基本となります。

※先日、川薩保健所主催で「さつま町こころの健康づくり連絡会」を開催し、その中でシンボルマークが決まりました。是非皆さんも関心をお持ちいただけると幸いです。




「こころのケア」シンボルマーク